

科目名	臨床栄養学					開講 キャンパス	神 埼
担当者	石 松 秀						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	二年次に学習した疾病論と、三年前期に学習した臨床栄養学概論がどのように関係し、治療における栄養管理を中心に説明する。栄養管理計画を作成する際に考慮しなければならないことを説明する。						
授 業 の 到 達 目 標	各疾患における栄養療法について説明できる。臨床栄養学に関する基本的な専門用語の意味を理解できる。 疾患ごとに栄養アセスメントのポイントを説明できる。 作成した栄養ケア計画を評価することができる。 栄養ケア計画を作成するために、多領域の知識が必要である事を理解する。 栄養ケア計画を作成する際に、患者の気持ちや社会的背景も考慮しなければならないことを理解する。						
学習方法	○講義：スライド等、配布資料への書き込み						
テキスト及 び参考書等	○配布資料、○教科書：臨床病態栄養学 第3版 武田英二（編）文光堂、ブックス 三訂 臨床栄養管理 渡邊早苗、寺本房子、松崎政三（編著）（建帛社）						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	○				55	
小テスト等	○	○				35	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○	○		5	
受講者の発表							
授業への参加度			○	○		5	
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）</b>							
第 1 週	糖尿病の栄養食事療法						
第 2 週	肥満症と脂質異常症の栄養食事療法						
第 3 週	高尿酸血症・痛風の栄養食事療法						
第 4 週	高血圧症の栄養食事療法						
第 5 週	慢性閉塞性肺疾患の栄養食事療法						
第 6 週	消化器疾患の栄養食事療法						
第 7 週	肝臓の栄養食事療法						
第 8 週	胆嚢・膵臓の栄養食事療法						
第 9 週	腎臓疾患の栄養食事療法						
第 10 週	人工透析の栄養食事療法						
第 11 週	内分泌疾患の栄養食事療法						
第 12 週	骨粗鬆症の栄養食事療法						
第 13 週	血液疾患の栄養食事療法						
第 14 週	先天代謝異常症の栄養食事療法						
第 15 週	外科の栄養食事療法						
第 16 週	試験						
備 考	授業外学習（事前学習・事後学習）：毎回の講義資料を見直し理解すること。小テストは前回の講義内容について問う。						